

誰も人の頭の中はのぞけない

昼めしの後、休憩時間はグッスリ寝込んでしまった。

屋の練習時間は、教員クラブが顔を出し、彼らと試合。

まあ、私ども、高校ハンドボール部の現役チームは、彼らを、ポロポロに負かした。

わたくし事、キーパーは、軽く相手をあしらい、我が足にボールのあたるのを避けた。

ただ、その為に、相手に、少しだが、点を取らせるに到った事が、非常に残念である。

その試合の後も、我々、現役は、三人の先輩に、にらまれながら、ありがたい練習を続けた。

丁度、時は春分過ぎたところである。ゴール横にあるハンドボール保管用の網を取り上げて、それを通して、真西に沈みかける太陽を見ながら、太陽を網に入ったハンドボールの様に、西山に引き下ろす手振りをする。